

5/25-31#1時代のビジョンにしたがって生活し働いて時代を変える:Ⅰ.ノア、ダニエル、ヨブは模範であって、私たちがどのようにして命の路線において勝利を得る生活をして、神のエコノミーを成就することができるかを啓示しています。これは時代のビジョンにしたがって生活し働いて、時代を変えることです。**エゼキエル14:14** たとえ、この三人の者、ノア、ダニエル、ヨブがその中にいても、彼らは自分の義によって自分の魂を救い出すだけであると、主エホバは告げられる。Ⅱ.ノア、ダニエル、ヨブの生活は、三一の神がご自身を彼の選ばれ贖われた民の中へと分与し、造り込んで、彼の永遠のエコノミーを成就することを啓示しています。全聖書は支配する原則にしたがって書かれました。その原則は、三一の神がご自身を私たちの中へと分与して、私たちが彼を経験し、享受し、表現して、彼の神聖なエコノミーを成就するということです。**詩36:8** 彼らはあなたの家の脂肪分で満ち足り、あなたは彼らにあなたの楽しみの川から飲ませられます。**9** あなたと共に、命の源泉があり、あなたの光の中で、私たちは光を見るのです。**A**ノアにおいて、私たちが見るのは、父なる神が彼の建造のための願いと計画を持っており、彼の契約、言葉を守ることに於いて永遠に信実であって、すべてを含むキリストを義、聖、栄光として彼の選ばれた民の中へと分与して、彼らをキリストが何であるかのすべてについての知恵ある展覧とならせるということです。**B**ダニエルにおいて、私たちが見るのは、子なるキリストが神の行動の中心性また普遍性であるということ、また神の永遠のエコノミーの目標が、砕く石としての団体のキリスト(キリストと彼の勝利者)を持ち、神の時代の手段とならせてこの時代を終わらせ、それが大きな山となって全地を満たし、全地を神の王国とすることであるということです。**ダニエル2:34** あなたが見ておられるうちに、一つの石が人手によらずに切り出されて、その像の鉄と粘土の足を打ち、これを砕きました。**35** ...そしてその像を打った石は、大きな山となって全地を満たしました。**2コリ3:18** しかし、私たちはみな、主の栄光をおおいの顔をもって、鏡のように見つめ、そして反映して、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと徐々に造り変えられていきますが、それはまさに主なる霊からです。**C**ヨブにおいて、私たちが見るのは、霊なる神が彼の愛する者たちを聖霊の更新によって造り変えの過程を経過させ、彼らが神を見るときに神を獲得し、神によって造り変えられて、神の心

にあるものを遂行して、神格においてではなく、命、性質、現れにおいて神となり、神を団体的に表現し、神に栄光を得させるということです。**ヨブ42:5** 私はあなたのことを耳にしていました。しかし今、私の目はあなたを見ています。**6** それゆえ、私は自分を忌み嫌い、ちりと灰の中で悔い改めます。Ⅲ.**「しかし、ノアはエホバの目に恵みを得た」(創6:8):A**ノアの生活と働きは、恵みがいかに多くのことを、墮落した人のために行なうことができるかを啓示しています。恵みとは、私たちの負担を担う方としてのすばらしいキリストであり、彼は私たちの中で、私たちの代わりに、私たちの享受のためにすべての事を行なってくださいませ:**1**肉は悪魔の同在であり、恵みは神の臨在です。サタンの同在に相対するには、神の臨在を必要とします。**ヘブル4:16** ですから、私たちがあわれみを受け、また時機を得た助けとなる恵みを見いだすために、大胆に、恵みの御座に進み出ようではありませんか。**2**恵みの結果は義です。恵みの力、恵みの強さ、恵みの命によって、私たちは神に対して、互いに対して、自分自身に対してさえ正しくあることができます。**B**ノアは神と共に歩み、箱船を建造して、神聖なエコノミーを遂行しました:**ヘブル11:7** 信仰によって、ノアは、まだ見ていない事柄について神から指図を受け...彼の家の救いのために箱船を用意しました。このことを通して、彼はこの世を罪に定め、信仰による義の相続人となりました。**1**聖書における神の最初の建造はノアの箱船であり、それは神と人の建造としてのキリストを表徴しています。神の建造は神・人です。**2**箱船を建造することは、団体のキリスト、すなわちキリストのからだとしての召会を、建造の材料であるキリストの豊富の要素をもって建造することを予表します。**3**三階建ての箱船は、三一の神に対する私たちの経験にしたがった三一の神を表徴します。その霊は低い階によって表徴され、私たちを御子にもたらし、御子は私たちを経験においてさらに高くもたらして、御父へと至らせます。**エペソ2:18** それは、私たち両者がキリストを通して、一つ霊の中で、御父へと近づくことができるためです。**4**箱船の三階にはただ一つの窓があって、天に向いていました。これは、召会、すなわち神の建造には、一つの新約の務めを通して、一つの啓示と一つのビジョンがあるだけであることを表徴しています。**創6:16** 箱船に明かり窓を造り...なさい。また箱船の入り口をその側面に設け、それを一階と二階と三階に造りなさい。**使徒26:19** こういうわけで、

アグリッパ王よ、私は天のビジョンに背かず。
IV.ダニエル書が私たちに見せているのは、私たちは時間を贖い取って、神の無上の尊さとしてのキリストを享受しなければならないということです。それは、私たちが彼で構成されて、彼の固有の宝としての尊い人、さらには尊さそのものとさえなるためです。A超越したキリストは、彼の無上の尊さの中で、ひとりの人としてダニエルに現れ、彼に評価させ、彼を慰め、励まし、期待させ、堅固にしました:ダニエル10:5 目を上げて見ると、見よ、ひとりの人がいて、亜麻布をまとい、腰にはウパズの純金の帯を締めていた。6 彼の体は緑柱石のようであり、彼の顔の外観はいなずまのようであり、彼の目は火のたいまつのようにあり、彼の腕と彼の足は磨かれた青銅の輝きのようであり、彼の言葉の声は群衆の声のようであった。7 私、ダニエルだけが、そのビジョンを見...た。
1キリストは人性において祭司(亜麻布の外套で表徴される)として現れ、捕囚にある彼の選びの民を顧みしました。2キリストは神性において王職(金の帯で表徴される)の中で現れ、すべての民を支配しました。3キリストは彼の尊さと威厳の中で現れ(彼の体が緑柱石のようであることで表徴される)、彼の民に評価させました。「緑柱石」というヘブル語の言葉は、青みがかかった緑色あるいは黄色の宝石を指しており、キリストが彼の具体化において神聖で(黄色)、命に満ち(緑色)、天的(青色)であることを表徴します。4キリストはまた人を照らすために、輝く明るさの中で現れ(彼の御顔の外観がいなずまのようであることで表徴される)、また探り裁くために、彼の照らす眼光の中で現れました(彼の目が火のたいまつのようにあることで表徴される)。5キリストは彼の働きと行動の輝きの中で現れました(彼の腕と彼の足が磨かれた青銅の輝きのようであることで表徴される)。6キリストは人を裁くために、彼の強い語りかけの中で現れました(彼の言葉の声が群衆の声のようであることで表徴される)。Bダニエルが受けた啓示は、全世界の情勢が天の神による天の支配の下にあって、それはあらゆることにおいてキリストに首位、第一位を与えるためであるということです。V.「その時、エホバは...ヨブに答え(ヨブ38:1前)」、「その時、ヨブはエホバに答え(42:1前)」、「エホバはヨブの捕囚状態を元に戻し[ました](10前)」:Aヨブの友人たちの論理は善悪知識の木の路線にしたがっており、彼らはヨブの苦難が神の裁きの事柄であると考えました。しかしながら、ヨブの苦難は神が消耗させること

であり、それは神がヨブを獲得し、ヨブがさらに神を獲得するためでした:1ヨブに対する神の意図は、自分の完全さと正しさにおける天然のヨブを取り壊し、神の性質と属性において更新されたヨブを神が建て上げることでした。2神の意図は、ヨブをさらに深く神を追い求めることの中へともたらすことでした。それは、ヨブが彼の人生の中で欠けているのは神ご自身であることを認識し、彼が神を追い求め、神を獲得し、神を表現するようになるためでした。3神の意図は、命の木の路線にあるヨブを得て、ヨブを神の人とすることでした。Bヨブ記は、聖書の六十六巻がただ一つのこのためであることを啓示しています。それは、神がキリストの中で、その霊によって、ご自身を私たちの中へと分与して、私たちの命、性質、すべてとなり、私たちがキリストを生き、キリストを表現することです。これは私たちの生涯を支配する原則であるべきです。Cこの原則の中で生活し働く道は、私たちの霊を活用することを通して、その霊によって、その霊と共に、その霊の中で、その霊を通してすべてとなり、すべてを行なうことです。ガラ5:25 もし私たちが霊によって生きているならば、霊によって歩こうではありませんか。

証ノア、ダニエル、ヨブの生活は、三一の神がご自身を彼の選ばれ贖われた民の中へと分与し、造り込んで、彼の永遠のエコノミーを成就することを啓示しています。全聖書は支配する原則にしたがって書かれました。その原則は、三一の神がご自身を私たちの中へと分与して、私たちが彼を経験し、享受し、表現して、彼の神聖なエコノミーを成就するということです。

特別集会で関西大集会所に関する財物を捧げる交わりの中で、各地方で具体的な金額を交わられました。余力兄弟からこの金額を用いて、一人一人主のみ前に出て祈るように入れられました。私も兄弟と子供と交わり、個人的にも主と交わりました。祈りの中で、私が新人の時に、魚崎集会所を買うにあたって、いくつかの家族の兄弟姉妹がローンの形でささげたという証を聞いて、いつか自分もこのように捧げたいと主に祈ったことを思い出しました。

今回、大集会所建設の機会に、これらの兄弟姉妹の模範に従い、捧げたいと主に祈りました。祈れば祈るほど主の分与に与り、喜びが溢れました。主に捧げることは自分の力ではなく、神の分与によります。どうか大集会所が大いに用いられて、日本において回復の証しがますます強められますように。